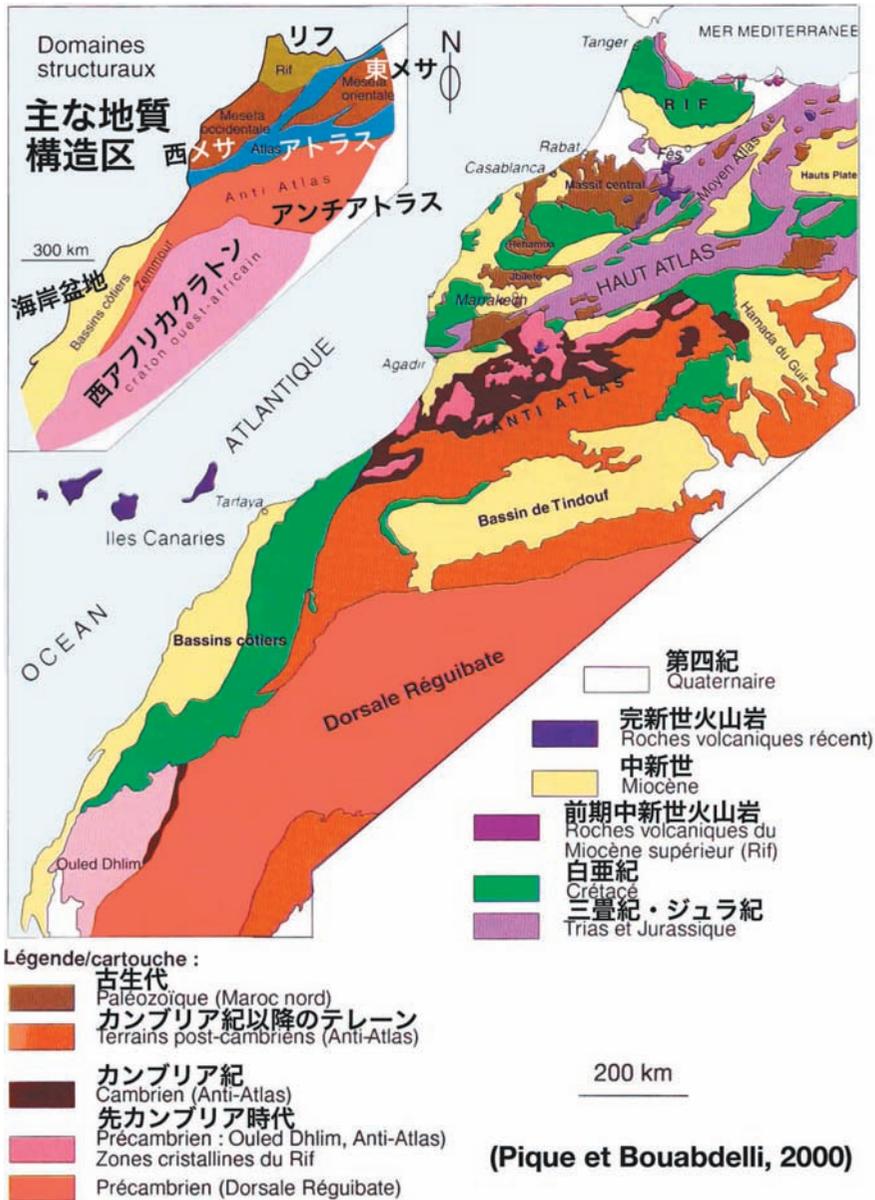


# アフリカとヨーロッパの架け橋、モロッコの地質を訪ねて

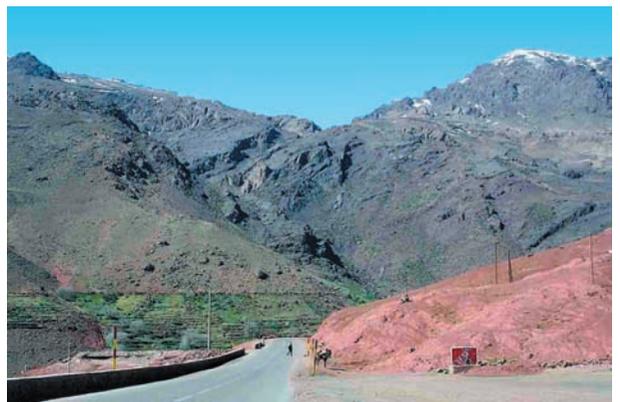
## 2. モロッコへ、そしてアトラス山脈を越え

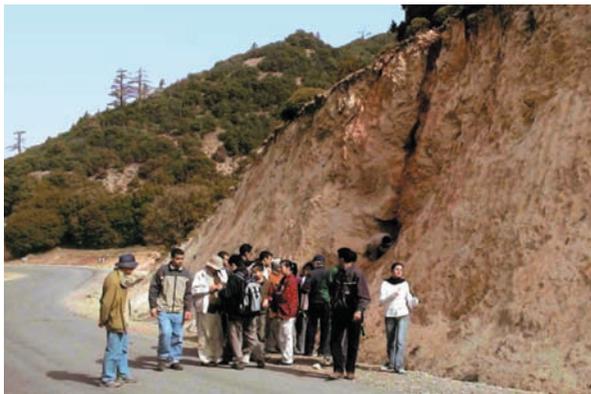
<蟹江 康光・蟹江 由紀・松島 義章・上西 敏郎>



1. モロッコの主要地質構造図。Pique et Booabdelli (2000) に和訳を追加。アトラス山脈が北東-南西方向に分布している。

2. 南のハイアトラス越え。最後の集落を過ぎると残雪が、まばゆい。標高2,260mのティジンティフカ峠は近い。





3. アル・アハワイーン大学生の地質巡検.



4. アンチアトラス丘陵麓のオアシス。まさに桃源郷.



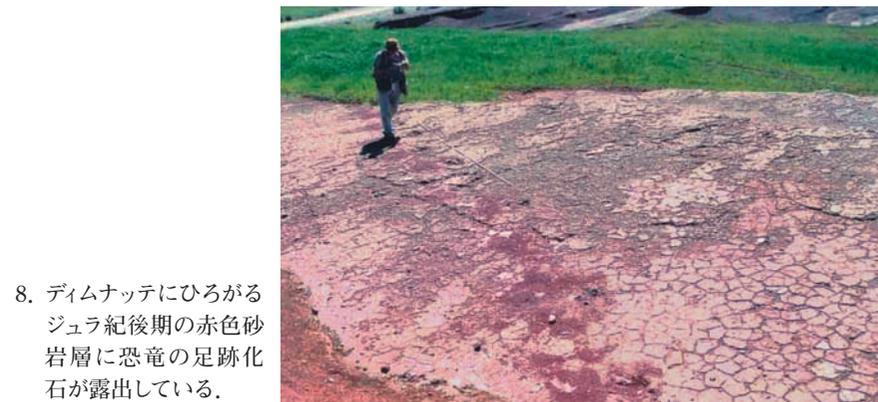
5. 層理面の浸食形状。アイト・ベン・ハドゥへの谷.



6. アトラス山地中軸部で知りあった、エルランディア大学のカピリ教授(中央前)たちと著者ら.



7. ミブラデン鉱山の採掘跡。露天掘りの中央部から坑道が放射状に延びている.



8. ディムナッテにひろがるジュラ紀後期の赤色砂岩層に恐竜の足跡化石が露出している.

